

海浜打瀬小を中国の小学生 42 名が訪問

2月10日(火)、中国重慶市の巴蜀(はしょく)小学校5,6年生児童42名が、訪日旅行の一環で海浜打瀬小学校を訪問し、午前から給食までを共にしました。

この交流では、中国と日本の小学生の橋渡し役として神田外語大学の学生11名も通訳ボランティアとして活躍。ベイタウンらしい地域に開かれた学校の姿がよく見えた交流でした。【斎田】



午前10時前、中国訪問団が到着。中国の小学生達は控え室となる多目的室で静かに姿勢よく着席。やや緊張した感じですが落ち着いて真面目そうな子ども達の様子に、教育熱心な中国という印象が重なります。引地校長による出迎えの挨拶、神田外語大学生ボランティアの紹介があり、いよいよ海浜打瀬小の子ども達と会うためアリーナへ。アリーナでは海浜打瀬小の全校児童が集い、中国巴蜀小学校のみなさんを待ちます。

10時半過ぎ、盛大な拍手に迎えられ中国訪問団が入場。海浜打瀬小の校歌合唱で歓迎セレモニーが始まります。次いで両校の校長挨拶。中国訪日団へ向けて、通訳の方がその都度中国語を話すのですが、それまで静かだった海浜打瀬小の席がザワザワザワ…。低学年の子ども達はどうやら目の前で聞く生の中国語が気になって仕方がない様子です。一瞬何事かと思いましたが、何とも子どもらしい反応。中高学年の皆さんは落ち着いて聞いていましたよ。

続いて6年女子による児童代表挨拶。中国側も女子が代表。「(訪問が)日中友好の懸け橋に」と語ってくれました。堂々とした挨拶が頼もしいです。この後は中国の児童からダンスと劇の出し物、日本側からはけん玉・なわとびの披露があり、セレモニーの少し固い雰囲気から和やかな空気に変ってきました。けん玉は中国の小学生には慣れないようで互いに教え合うシーンも。一方なわとびは中国の小学生もとても上手で拍手がおこりました。

セレモニーの最後は神田外語大生プロデュースの中国を知るための〇×クイズ。大学生も大勢の小学生を前に少し緊張したようですが、会場は大いに盛り上がり、セレモニー会場から退出する時には皆笑顔で距離が縮まった様子でした。

全体での交流はここまでで、この後は5,6年生の教室で日本の授業体験。各クラスに5,6人の中国の児童が加わり共に学びます。授業内容はクラスごとに異なり、6年生では日本の漫画を見て面白いと思うと

ころを話し合ったり、お互いの国について質問を交換しながら理解を深めるなど様々。日本の児童は「僕は家族を大切にしています(ここでクラスメイトから『ええー?』と笑いと突っ込みが…)、中国では、あなたは何を大切にしていますか?」中国の児童は「私も家族を大切にしています。中国では家族は親だけでなく親戚全部で結びつきが強いです」といった応答や、「この学校に来て驚いたことは?」「壁がなくて驚いた」など、大学生の通訳を経て授業は進みます。さすが卒業間近の6年生、皆落ち着きがあり、積極的に発言していることにとても関心しました。

中国語は話せないけれど、通訳なしで英語とジェスチャーで質問したい!とクラスを沸かせた男子も。中国では小学校1年生から英語の授業があるそうで、お互いに英語でコミュニケーションをとる場面も見られました。教室の壁には書道作品の「アジアの仲間」の文字が。子ども達にとってテ



打瀬小学校 20 周年記念式典

2月14日(土)、打瀬小で20周年の記念式典の行事が行われました。午後から行われたアリーナでの式典にだけ出席させていただきましたが、打瀬小の歴代の校長が出席しての式典は見えていて感慨深いものがありました。

式では初代校長の溜昭代先生が創立当時の校歌と校章の制作の話などを披露し、子どもたちは自分たちの学校の校歌には、実は自分たちの先輩方がつくった歌詞が使われ、校章も当時の5年生の子がデザインしたものが今の校章になっているのだという

レジ等で見るとよりずっと身近に中国を感じたことでしょう。

授業の後は給食。この日は伝統的な和食メニュー。この頃になると子ども同士の会話も弾み、ふざけて呼び名を伝えあったり、誰がイケメンかと聞き合ったり笑い声があふれ賑やかになりました。ノートに漢字を書き合いコミュニケーションをとる姿も見られ、国際色豊かなベイタウンだけあり、子ども達もこうしたコミュニケーションに慣れていて積極的だなと感じました。ボランティアの学生も、「通訳」という役割だけでなく先生と児童の間に立ってこの交流の雰囲気作りに大きく貢献していました。大学生にとっても、「初めてで戸惑いもあったけれど、良い経験になりました。」と話してくれました。

そしてようやく慣れてきた頃にはお別れの時間。中国の子ども達は日本語で「ありがとう」と言い、楽しかったと笑顔で去って行きました。バスを見送った6年生男子がポツリと言、「先生、次は中国に行きたいな」。とても印象的なシーンでした。国際色豊かなベイタウンですが、子ども達がこうして身近で実際に自分の目で確かめ、心で感じられる経験を通して、世界への扉が一層開かれていくのだと実感しました。

引地校長のセレモニーでの言葉、「私たちの学校は互いに進んで交わり相手を大切にするために壁がありません。私たちはひとりひとりの違いを大切にしながら笑顔で生活しています」という言葉が強く心に響きました。壁のない学校で学ぶ子ども達が、互いに協力し合う壁がない未来を築いていけるよう、私たち大人も頑張らなくてはと背筋が伸びた今回の取材でした。

ことを知って、とても感激していました。ちょっとしたことですがこんなことが子どもたちの学校や地域を愛することに結びつくのだと思いました。



今回の Who's Who は加治史子さん 32 歳。セントラルパーク・ウェスト A 棟の自宅で建築設計事務所を開き、大手電機メーカーエンジニアのご主人と、みらい保育園に通う壱基君の 3 人で住む。史子さんは 1 級建築設計士で現役のアーキテクチャーだ。

しかし、この記事を書いたのは彼女のちょっとうらやましいキャリアぶりを紹介したいからではない。実は史子さんは打瀬中学校開校時の 1 年生。つまり打瀬中最初の入学生だ。そしてご主人も同じ打瀬中の同い年だという。中学時代のクラスメートと結婚して、今はふたりが通った学校のある街で子育てという、キャリアよりももっとうらやましい家族の物語。【松村】

加治史子さんの旧姓は宇田川史子さん。ベイタウンには 1995 年 3 月に 1 期で 6 番街に入居した。隣町の真砂で小学校を終えた史子さんは開校したばかりの打瀬中学校 1 年生に入学。このとき将来のご主人となる加治洋祐さんも同じ打瀬中の 1 年生だった。そこで出会って…、となればドラマのようだが、ふたりが付き合いを始めたのは

中学を卒業してからのこと。この頃はまだ部活や学業に忙しかったようだ。

この頃の史子さんは理科に夢中の中学生。今で言う「リケジョ」だ。創刊間もない 1998 年のベイタウンニュース第 8 号には彼女の自由研究「ネギの茎はなぜ伸びる」が読売新聞で取りあげられたことが報じられている。そんな理系の彼女が選んだ道は

インテリアデザイナー。大学もそのつもりで理系に進んだ。だがそこで彼女はインテリアよりもっと惹かれるものに出会う。「建築設計」だ。指導教官から「インテリアをやるなら建築も知っておいた方がいい」と薦め



千葉市が打瀬公民館の運営について説明会

コアの新しい使い方を一緒に考えましょう。

公民館運営に関する説明会

日時：3 月 15 日（日）午後 2：00～
場所：ベイタウン・コア（打瀬公民館）ホール

主催：千葉市教育委員会 生涯学習部
生涯学習振興課

千葉市はベイタウン・コア（打瀬公民館）の運営方法を見直すため、地域の特色を活かした使い方を住民といっしょに考える会を開きます。現在、コアは公民館のルールの中で運用されていますが、素晴らしい音響と日本に数台しかないコンサートグランドピアノを備えたホールを持つなど、施設としても優れたものをもつコアを従来の公民館の枠で画一的に管理するよりも、住民の意見を入れた新しい管理をした方が地域の特色を活かした文化施設にすることができると考えたからです。

ベイタウン・コアは計画時から住民と企業庁、千葉市の 3 者が同じテーブルで考え、住民の意見が取り入れられた画期的な文化施設として誕生しました。しかし他の施設にはない音楽ホールを備えるなどハー

ドウェア面では住民の意見が多く活かされましたが、計画時に住民が希望した自主的な運営については見送られました。コアが公民館という従来の施設の枠内で管理されることになった理由です。当時のベイタウンのコミュニティの成熟度ではまだ長期にわたって継続的にこの施設を運用することに不安があったからと考えられます。

しかし街開きから 20 年。当時と比べてベイタウンも大人になりました。この地域なら将来この施設を自主的に運営することを任せて大丈夫ではないか、そのための話し合いを今から始め、できる部分から自主運営をという環境が整ってきたのです。

もちろん自分たちでコアを運営するには住民の側にも責任が発生し、手放しで喜べるものではありません。しかしコアは今コアを使っている人だけでなく、これから多くの世代が使い続けるベイタウンの文化施設です。将来ここで暮らすすべての人が使いやすく誇れるような施設にしていくためのきっかけを作るのは、今ここにいる我々の世代の役割です。ぜひ多くの人の参加をお待ちします。

られた建築設計の道に史子さんは進むことになる。卒業後都内のインテリア会社に就職して 1 級建築士の資格を取得。設計事務所に転職し後に独立してベイタウンで建築事務所を開業した。史子さん 31 歳のときだ。

さて、こう書くと次はご主人とのふたたびの出会いを書きたいところだが、史子さんを Who's Who で紹介したのはもっと別のことを伝えたいからだ。実は彼女は中学生の頃からベイタウン以外の場所に住んだことがないという。高校は近隣の市立稲毛高校。大学も野田のキャンパスに親元の自宅から通学した。さすがに卒業前の論文執筆の時期は大学近くで部屋を友達と借りて数ヶ月間過ごしたが、卒業後はベイタウンに戻り勤め先となった建築事務所も打瀬で選んだ。

これはご主人の洋祐さんも同じだ。彼も大学、社会人となってからも史子さんの実家の隣の 4 番街に住んでいた。この街が好きで、結婚後もベイタウンに住むことは決めていた。ちょうど良い物件が CPW に見つかったので史子さんと結婚して入居したという。そして長男の壱基君が生まれ、今はふたりの親元の 6 番街と 4 番街の間を歩き来しながら子育てと仕事に忙しい毎日を送っている。近くに親が 4 人もいると子育ては実に助かっているそうだ。仕事で忙しいときは必ずどちらかの親が「喜んで」孫の面倒を見てくれる。子育てや教育にはベイタウンはいい街だし、建築の世界で働く史子さんにはベイタウンは自分の感性を刺激する建物に囲まれている。

先日同じ CPW A 棟に住む友人にこの加治一家のことを話したら、「加治さんなら奥さんもお子さんもよく知っている。コミュニティ活動にとっても熱心な方だ」と聞かされた。ついこの間まで中学生だった子どもたちが、もう立派な大人になりこの街を支える世代に育っている。街が成熟してきたことの証しだ。史子さんによると、自分と同じように打瀬中を卒業してからもこの街に住み続けたり、この街が好きで戻ってくる同世代の人は何人もいるという。

ベイタウンは近代的なマンションで造られた新しい街だ。新しい街には新しい文化が育つ。史子さんや洋祐さん、壱基君、そして今この街で育つ子どもたちにとってはこの街が「ふるさと」だ。遠きにありて思うことでしか故郷を思い描けない我々とは違った街と文化を新しい世代がつくっている。そんなことを感じさせてくれるインタビューだった。

カジフミコ建築設計事務所のご紹介

女性の視点から『住まい』を見つめています。『あなたらしい住まいづくり』のお手伝いができればと思います。

リフォーム・リノベーションも行っているので、ご興味のある方は H P を見て頂ければと思います。

カジフミコ建築設計事務所 <http://www.kajifumiko.com/>

ベイトウンで定着するカーシェアリング

最近マンションで駐車場の空きが出てきているという話をよく聞きます。クルマに乗る機会が少なくなった世代が増え駐車場が不要になったのでしょうか。しかしクルマに慣れたライフスタイルを一気に自転車やバスに置き換えるというのもなかなか難しいことです。若い頃のように毎週子どもを連れて遠出をする訳ではないけれど週末の買い物にはクルマが欲しい。そんなニーズに応えているのがカーシェアリング。どんな使われ方をしているのか調べてみました。

取材に協力してもらったのはベイトウン内でカーシェアリングのサービスを行うタイムズ24社。同社が運営するベイトウン内3カ所の駐車場では現在14台の車をカーシェアリングで運用しています。同社をご利用されているセントラルパークに住む50代の男性にお話を聞きました。「車検を機に、自家用車を一旦やめてカーシェアリングに切り替えています。家族で車に乗ることも少なくなり、子供も免許を取ったのですが、保険は高くなるし、利用頻度と維持費を考えて。家の前の駐車場で借りられるので、自分の車と同じような感覚です。ちょっとゴルフの打ちっぱなしの練習に行くのに使ったり、妻とコストコで重いものを買うときに使います。子供は夜に練習をかねて、ドライブしたりしているんじゃないかな」。

一方マイカーではなくカーシェアリングだからできるという使い方をされている方もいます。「妻とドライブデートをするのに、どうせなら最近流行のMINIに乗ってみたくて」と語る男性は、リンコス前のステーションで提供されている“MINI CROSSOVER”に乗ってご夫婦で箱根の温泉に行かれたそうです。

いつもは小型の日本車で十分だけれど、たまには小粋な外車で気分を変えてというのもカーシェアリングならではのようです。

また、新幹線で前橋まで行って、そこからカーシェアで友人宅に訪問。帰りは新幹線で一杯やりながら帰宅、という出先で活用をして「なかなか便利だ」と驚いていた方もいます。全国にステーションがあり、車種も豊富なので、近所の日常利用だけでなく休日にベイトウンから遠出をして、帰りはステーションにクルマを置いて新幹線でのんびりという使い方もできるんですね。

では気になる料金や利用方法はどんなでしょう。協力いただいたタイムズ24社の方に聞きました。同社の行う「タイムズカープラス」というカーシェアリングサービスは、会員になると全国約6100カ所。1万台以上の車を15分206円から借りることができます。予約はHPから行え、借り

るのは24時間いつでもOK。「ちょっと車を使いたいな」と思ったら、HPで予約をして、駐車場（ステーション）に置いてある車に会員カードをかざすだけで、すぐに車を使うことができます。もちろんベイトウンの駐車場にある車もこの方法ですぐに使えます。料金には利用料だけでなく保険料やガソリン代も含まれており、給油時は車内にある専用カードで支払うので自分でガソリン代を負担する必要はありません。

ベイトウン内ではマナーを守って綺麗に使っている方が多いようで、気持ちよく利用できるそうです。カーシェアリングについて興味をお持ちの方は、一度タイムズに置いてある車を見に行ってみるのもいいかもしれません。駐車場に置かれている車の前の黄色・青色のコーンが目印です。

HPや車のあるステーションに設置されているリーフレットもぜひ参照されてみてください！同社の駐車場はリンコス横、コア横、「くすりの福太郎」裏にあります。

Times Car PLUS ホームページ：

<http://plus.timescar.jp/>

入会に関する問い合わせ：0120-20-5037（専用フリーダイヤル/24時間受付）



打瀬中の吹奏楽部がニュース配布

ベイトウンニュースの配布会には1年ほど前から打瀬中学校の吹奏楽部のメンバーが毎月交代で参加しています。以前ニュースで吹奏楽部の学内コンサートを紹介したのがきっかけで、部活顧問の牧野先生が部員を交代で配布に参加させましようと言ってくれました。

中学生達は毎月第1土曜日に5、6人がきちんと10時頃に学校での練習を中断してコアに来ます。配布の人数が足りないベイトウンニュースにとっては彼らはとても貴重な戦力です。今回の配布会には定期テストのため練習が休みなのに1年生の6人



が手を挙げて参加してくれました。

今の中学生はとてもしっかりしていて、作業内容を説明するとすぐにリーダーらしき子が全員に指示をして、てきぱきと作業をこなします。ひとつひとつの指示に全員が大きな声で「ハイ」と返事をし、とても統制がとれています。恐らく練習のときもこういう雰囲気なのでしょう。こちらとしては、もっとノンビリと学校の話などをしてもらいたいのですが、彼ら（彼女ら）にとってはベイトウンニュースの配布は部活動の一部という意識があるようです。

今月はせっかく来てもらったのでインタビューを名目に話をしてみました。練習は楽しいか、どんな楽器をやっているか、などの雑談ですが、しっかりとした受け答えに驚きました。彼らは今中学1年生。次に配布会に来るときにはもっと大人びた顔つきになっているでしょう。楽しみです。

20周年記念幕張ベイトウンマラソン大会

2月8日（日）午前8：00～午後1：00。QVCマリン球場を主会場にして、子ども円卓会議と地域運営委員会設立準備会

が実行委員会を組織し、運営したベイトウンマラソン大会が開催されました。

当日はまずまずのコンディションのなかを小学生の選手と保護者、役員、運営ボランティア（中・高校生）、応援ダンス出演チーム等約700数十名が参加し、開会式とラジ体操を行い最初の種目である2km、「小1～3年の部」、「親子の部（小1～3年・保護者）」が午前10時にスタートしました。

お子さんと一緒に走る「親子の部」に約100名のお父さん・お母さんが参加し、お子さんに引っ張られるように懸命に走っていたのがとても印象的でした。

今回のマラソン大会では子ども達が多数参加することから、安全・救護のため医療関係者にもスタッフに加わってもらい、レース中もAEDを背負って自転車で選手たちを見守るなど万全を期しました。

運営ボランティアとして打瀬中学校陸上部、幕張総合高校陸上部、サッカー部、ダンス部の皆さんが大会運営を支え、ダンススケッチ、幕張総合高ダンス部の皆さんがダンスで元気づけてくださいました。

【ベイトウンマラソン実行委員会投稿】

打瀬中吹奏楽部が公開定期演奏会

打瀬中学校吹奏楽部は第3回公開演奏会を開きます。地域の方ならどなたでもお聴きになれます。中学校アリーナ（体育館）で行いますので、中学校に来たことのない方も是非おいでください。

3月22日（日）午後2:00～

場所：打瀬中学校アリーナにて

お問合せ TEL：043-211-0344 打瀬中学校

図書館からのお知らせ

「図書館の企画展示のお知らせ」

展示『懐かしの「昭和」、初めて出会う「昭和」』

～昭和をふりかえって～

打瀬分館では、3月18日（水）まで昭和30年代～60年代の衣食住、遊びや流行などの本を展示・貸出しています。レコード・古銭・絵葉書など、懐かしい品も置いてありますので、ぜひご覧ください。

3月20日（金）からは『幕末をかけぬけた人々』

吉田松陰、松下村塾など幕末をテーマに本を紹介します。

詳細・問い合わせ 打瀬分館 TEL：272-4646

ベイタウンできごとろじー 2015年2月

2月1日 打瀬中学校20周年記念事業実行委員会が20周年誌「海風」を発行

2月8日 20周年記念幕張ベイタウンマラソン大会

2月12日～13日 住宅地サイン名称板の取り替え

2月14日 打瀬小学校20周年記念行事

2月10日 海浜打瀬小学校に中国重慶市から交流小学生

自治会連合会が防災「そなえパークの日」開催

自治会連合会防災委員会では、県立海浜幕張公園と共催で、3月14日（土）に防災「そなえパークの日」を開催します。非常用井戸及びマンホールトイレの起動訓練や起振車の地震体験と煙体験の他にも、自衛隊による炊事車と水タンクトレーラーの出動、イオン協力で災害時バルーンシェルターの開設、はしご車の出動、各種防災グッズの展示など内容は盛り沢山です。日頃の防災を見直してみる意味でも、是非、ご家族でご参加ください。

県立幕張海浜公園と
ベイタウン地区自治会連合会共催イベント！

防災 2015
3月14日（土）10:30～15:30
そなえパークの日

会場 【メイン会場】県立幕張海浜公園Bブロック自由ひろば
【ベイタウン会場】打瀬小学校とベイタウン商店街

【内容】県立幕張海浜公園に備わった海浜リゾートコース（A・B・C・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P・Q・R・S・T・U・V・W・X・Y・Z）の各コースを巡り、防災体験やワークショップなどを実施します。

防災体験

- ・起振車震度体験（9階のみ）
- ・煙体験（9階のみ）
- ・初期消火体験

ワークショップ

- ・バルーンシェルターの布で遊ぶ
- ・ロープワーク
- ・三角巾による応急手当
- ・ビニール袋のカップ作り

スタンプラリー

スタンプを集めて
防災グッズや記念品をもらおう！
2つの会場を回るかな？

非常食を食べてみよう

お湯だけで食べられるアルファ米を
食べてみよう

知ってる？！ 身近な防災施設

非常用井戸やマンホール
トイレを見てみよう！

3月のコア・イベント

3月21日（土）わくわくおはなし会 3月の常設おはなし会

わくわくおはなし会 3月の常設おはなし会

日時：3月21日 第3土曜日 10:30から

場所：ベイタウン・コア講習室

予約不要 途中入場できます。

今月もわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね＊＊ <http://waku.makusta.jp/> ＊＊

お問合せ先：井上 （043-211-0188）

3月28日（土）寺子屋工作ランド

「レインボー・スコープ」をつくろう

日時：3月28日 第4土曜日 9:30～11:30

場所：ベイタウン・コアエ教室

持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、きれいな千代紙

参加費：50円（保険料）

第136回ファッティオリの会（コア文化振興基金後援事業）

第136回ファッティオリの会

日時：3月22日（日）9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファッティオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことができます。非公開でのご利用ご希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申込締切：3月15日（日）

申込先：TEL & FAX 276-4266

namsc-2937@tbz.t-com.ne.jp（庄司）

第31回

住宅ローン

無料 個別相談会開催



生涯で大きな支出となる住宅ローンはどこも同じではありません。長期固定返済の場合、1000万円を超える節約ケースも。これまで海浜幕張エリアで30回もの相談会の実績を持つ「ノア・ホーム・コンサルティング（株）」では、専門アドバイザーが多様な住宅ローンを中立公平な立場から評価し、適切にアドバイス。相談会は法人ならではのノウハウと信用、責任に基づき実施するので、約8割以上の方が【ローンの見直し・借換えを行い無駄な支出が押さえられました】と大好評です。

なんと！

金利1%低下で5年間短縮！約720万円の節約！

※借入額3,000万円、返済期間32年、借換え費用差し引き後の場合

いずれかの条件に当てはまる方
借り換えをお奨めします

★現在1.2%以上の金利

★金利上昇が気になる方

★返済期間残15年以上

★月額返済を減らしたい方

★残高1000万円以上

★段階金利が気になる方

要予約

300回以上の実績！

ノア・ホーム・コンサルティング（株）

平日の10時～20時受付
☎03(5830)3325

ノア・ホーム・コンサルティング

検索

参加ご希望の方は必ずご予約下さい

千葉市幕張勤労市民プラザ

3/22（日） 13:00～17:00
3/28（土） 13:00～17:00

幕張勤労市民プラザ 幕張総合高校
京葉線 海浜幕張駅 幕張ベイタウン